

平成 18 年度社会福祉法人神東会  
事業報告及び決算書

## 目次

### 事業報告

事業の概況	2
各事業の状況	4
特別養護老人ホームたんぽぽ苑(入居)	4
特別養護老人ホームたんぽぽ苑(短期入所)	9
デイサービスセンターたんぽぽ苑	10
旭ヶ丘デイサービスセンターたんぽぽ苑	12
ホームヘルプサービスたんぽぽ苑	15
シルバーサポートたんぽぽ苑	17
居宅介護支援事業	17
移送サービス事業	19

### 決算

財産目録(一般会計・特別会計合計)	22
貸借対照表(連結)	23
資金収支計算書(連結)	24
事業活動収支計算書(連結)	28

監査報告	32
------	----

# 事業報告書

## 事業の概況

神岡町内の平成19年3月末の65歳以上の方は、前年度より15人多い3,694人と人口の34.8%を占めています。飛騨市全域の高齢化率は30.4%ですから、市内でも高齢者が多い地域といえます。また、介護保険の認定状況を見ますと、町内の要介護認定者は455人と前年度より24人減っていますが、要支援認定者は51人増の118人で、要介護、要支援を合わせると573人（男性171人、女性402人）となり、前年度より27人増えています。

一方、神東会の事業をご利用いただいている方は274人（ケアプラン作成のみは除く）です。介護認定を受けられた方は何らかのサービスの利用を目的に認定申請をされたと思われませんが、認定者の47.8%の方に当法人の事業を使っていることとなります。この利用率が当法人にとって適当な数値なのか言い切ることは出来ませんが、地域の皆様に安心し、喜んで利用いただけるサービスを提供することが利用率を左右させるものと考え、ご利用いただく皆様の満足度の向上を目指し、サービスの提供に努めました。

18年4月の介護保険制度の改正で、提供するサービスが要介護認定者を対象とする既存のサービスと、新たに設けられた介護予防サービスに区分されました。介護予防サービスの報酬は従来の使用回数による算定方式と異なり、使用した月の定額報酬に変更され、事業所の収入としては引き下げとなりました。4月からの介護認定の更新が進むにつれ、要介護の認定を受けていた方が要支援1、要支援2に変更となる方もあり、介護予防サービスの対象者が月毎に増えました。しかし、サービス提供現場では、介護予防事業として特別のメニューを実施するまでには至っていきなく、他の事業所の様子を伺いながらメニュー化を模索するといった状況の1年でした。

また、障害者自立支援法の施行によって従来の措置制度が支援費制度に変更となりました。法の施行は4月、10月の2段階で行われたため、都度、従来からの利用者が継続利用できるように諸手続きを進め、東町、旭ヶ丘のデイサービスとホームヘルプサービスで、障害者福祉サービスを実施しました。このほか、地域包括支援センターが市の直営施設として設置され、在宅介護支援センターの委託が廃止となったため「在宅介護支援センターたんぼぼ苑」を「シルバーサポートたんぼぼ苑」と名称変更し、居宅介護支援事業と移送サービス事業を公益事業として特別会計を設け、業務を進めました。

このように、福祉をとりまく情勢は複雑化してきており、サービス提供事業者としては、こうした環境の変化に遅れることなく、利用者ニーズに応えていける体制と運営が求められていると考えます。顧客満足度のアップを図ることが施設運営の基本であることを認識し、当年度から各部署で一定の責任を持つ者で構成する「リスクマネジメント委員会」を設置し、事故の未然防止等について協議を進めました。委員会活動としては発生した事故の分析や防止策の策定といった掘り下げた活動までには至りませんでした。職員に意識の変化が出てきたと感じています。今後も、職員の資質の向上を図るとともに、サービスの質の向上に努めます。

当法人の経営状況につきましては、一般会計及び特別会計の連結決算の事業活動収支計算書における収支差額で見ますと、前年度の約2倍の2,900万円強の黒字決算となりました。当年度から居宅介護支援事業と移送サービス事業を特別会計に移しており、この部分を除いた経常活動収入では、約1,600万円強の増収となっています。東町デイサービスで利用者が増えたことにより2,090万円強の増となりましたが、旭ヶ丘では介護予防事業の報酬単価引き下げ等で1,480万円強の減収となりました。支出では、人件費が前年度より1,580万円強減っています。これは育児休業中の職員が6名おり、これを日々雇用職員で補う等、人件費率の抑制に努めたことによるものですが、法人の業務は人手に頼る部分が多く、単に給料を抑えこむだけでは、職員の意欲をなくすことにもなるため、業務遂行における工夫を求めながら、人事考課制度の導入に向かっての検討を進めました。しかし、評価するまでには至らず、今後の検討課題として引き続き職員に理解を求め、法人にとって適切な方法の実現を目指したいと考えています。

公益事業特別会計においては、居宅介護支援事業では、報酬単価が引き上げられ、業務量を増やしたこともあって、介護保険収入が倍の1,950万円強となりましたが、職員も増やしており、人件費を保険収入でようやく賄える状況となっています。また、移送サービス事業については、利用が前年度より若干増えており、順調に推移しています。

今後も、人材の育成と経費の有効な使用に努め、利用者ニーズに応じられる運営体制の整備を進め、健全な運営に努めてまいります。事業をとりまく環境は、益々複雑化し、厳しくなると思いますが、これからも地域の福祉の担い手として自負できるよう、役職員一丸となって事業展開に努力いたします。

## 各事業の状況

### 1. 特別養護老人ホームたんぼぼ苑（入居）

4人室 11部屋、2人室 9部屋、個室 8部屋	定員50人
・ 老人福祉法による特別養護老人ホーム 平成6年4月1日 設置認可（岐阜県指令高第9号）	
・ 介護保険法による指定介護老人福祉施設 平成12年4月1日 みなし指定	

#### (1) 事業の概要

前年度は入居者の長期入院や入退居が多く利用率が落ち込みましたが、当年度は、長期入院者、入退居者ともに例年並みとなり、利用率は97.4%に回復しました。

##### ① 個々の状況把握に努め、状況に沿った介護を

入居期間が3か月を経過するごとに介護サービス計画（ケアプラン）を総合的に評価したほか、毎日のミーティング等で問題提起があったものは随時改めるなど、高齢化、重度化が進む中で、よりその入居者の希望に沿ったサービスの提供に努めました。

ケアプランは、本人、家族の要望を取り入れ、個人の尊厳、個々の心身の状況等を勘案して実行可能な計画である事とされているが、高齢で心身機能の低下している入居者においては、本人の意思の確認が難しく、ご家族からも積極的な要望も少ないのが現状です。神東会の基本理念を踏まえて、希望を出来るだけ聞きだし、ケアプランに反映できる様に努めていますが、機能向上はなかなか難しく、現状機能の維持、退化防止が精一杯の状況です。また、身体拘束の廃止が強く言われていますが、転倒、ベッドからの転落、不潔行為等からの安全対策や事故防止に苦慮しているのも現状です。入居者の心身状態も重度化しており、積極的な活動が難しく、ケアプランも静養や声かけ、見守りといった内容の入居者も増えています。

##### ② 看取り体制の充実が必要

ここ数年、最後まで苑で過ごすことを希望される入居者及びそのご家族が増えており、主治医やご家族とよく話し合い、できるだけご家族等の意向を尊重することとしています。このため、当年度に死亡で退苑となった8名のうち7名が当苑でお亡くなりになりました。しかし、本当にこれでよかったのかと考えさせられる面もありました。苑としては、ご家族に信頼していただき、入居されている方が最後まで安心して過ごしていただける体制づくりが大事と考えます。今後は、主治医等との連携をより密に、職員の理解を深めて、看取り体制の整備をさらに進めたいと思います。

##### ③ 感染症の防止に努めた

苑では、1月1日に1階利用者の中に嘔吐・下痢の症状者があり、病院受診したと

ころ感染性胃腸炎の疑いとされました。数日間、同様な症状の利用者が毎日1名ずつみられたため、他の利用者との接触を少なくするための措置、ドアノブや手すり、車イス等の消毒や嘔吐物・排泄物の適正処理の徹底等を全職員に指示し、拡大の防御に努めました。幸い、7日過ぎには新たな発症者が見られなくなり、苑全体に蔓延することなく終息となりました。発症者の症状も軽く、命にかかわるような大事には至りませんでした。職員が感染症の脅威を身近に体験することとなり、日頃からの危機管理の重要性を改めて認識いたしました。また、感染症が苑内に持ち込まれる可能性が高い短期入所やデイサービス利用の受入時の健康状況の把握（今回は短期入所者に最初の発症があった。）といった、いくつかの課題も見つかりました。

#### ④ 行事や余暇活動で生活に変化を

単調になりがちな日常生活に変化を与えるとともに潤いのある生活を願い、祭り見物、納涼祭、敬老会、焼き芋会、餅つき、節分祭、ひな祭りといった行事を実施しました。また、神岡の冬の行事として定着しているクリスタルキャンドルについては、主催者のご好意でランプシェードの提供を受け中庭において実施することができました。このほか、生け花、締め太鼓、苔玉づくりなどの活動や、居酒屋などを実施しました。

##### ○ 主な行事

- 8月 5日 納涼祭 バザーや盆踊りなど。多くのボランティアに協力いただき、3階駐車場で実施。一般の方も多数参加された。
- 9月16日 敬老会 かんたろうさんの演芸を楽しみました。
- 10月10日 焼き芋 苑の畑で作った芋を粃殻を使って焼きました。
- 12月22日 忘年会 西川花清社中の皆様の余興を見ながら食事をしました。  
27日 餅つき 花餅をつくり苑内にかざりました。
- 2月10日 クリスタルキャンドル

居酒屋開催日と重なり、中庭にキャンドルを並べ、いつもと違った雰囲気となりました。

#### ⑤ より良い環境整備

玄関ホールに手洗い場所を設け、面会者等にうがい・手洗いを求め、感染症等の進入の防止を図ったほか、1階居室に夏用のレースカーテンを設置し、居住環境の整備を進めました。また、玄関横や地下通路等の雨漏り修繕工事等を行いました。

#### ⑥ 地域との連携を図る

納涼祭を例年どおり地域に開放し交流を図ったほか、ボランティアの積極的な受け入れを行い、地域との連携強化を図りました。

ボランティアは、踊り等の披露や行事への協力、クラブ活動の講師、庭や苑舎の清掃、洗濯物たたみ、喫茶会の世話など、色々な分野に協力をいただいています。また、定期的に行っていただく方も多く、地域の皆さまの福祉に対する関心の深さに敬意と

感謝をいたしております。(ボランティアの状況は、事業経過をお目通しください。)

また、高校生の職場体験、学生の介護実習など全ての依頼に応え、人材育成に努めました。

⑦ 職員の状況

3月31日現在

	施設長	生活相談員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	介護支援専門員	調理職員	事務職員	技術職員等	医師	計
職員数	1	2	31	5	1	(1)	1	10	3	3	嘱託	57

注意 職員には、正職員のほかパート職員を含み、法人事務局及び併設の短期入所生活介護事業従事者を含んでいます。医師は、飛騨市民病院等と契約しています。

上記以外に育児休業中の職員が4名在籍している。

○ 資格等の取得状況 (休職者を含み、複数の資格を持つ職員もいます。)

社会福祉士 0名 社会福祉主事 4名 介護福祉士 16名

介護支援専門員 3名 看護師 6名

(2) 年度末の利用状況

① 入居者の年齢別状況

	70歳未満	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	平均年齢
男性	1	1	3	1	1	0	2	0	9	81.0
女性	0	1	4	10	9	13	4	0	41	87.0
総数	1	2	7	11	10	13	6	0	50	85.9
前年度	2	3	2	13	10	12	6	0	48	86.1
比較	△1	△1	5	△2	0	1	0	0	2	△0.2

② 介護度状況及び入居前の居所

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度	入居者の前住所地	
								神岡町	旧上宝村
男性	0	3	2	2	2	9	3.33	7	2
女性	0	5	7	14	15	41	3.95	38	3
総数	0	8	9	16	17	50	3.84	45	5
前年度	2	6	6	20	14	48	3.79	44	4
比較	△2	2	3	△4	3	2	0.05	1	1



(3) 年間の利用状況

① 利用者の状況

	述べ利用者数	日数	入居可能数	利用率
当年度	17,784 人	365	18,250	97.45
前年度	17,243	365	18,250	94.48
比較	541	0	0	2.97

② 入退居者の状況

	退 居 者					入 居 者			
	退 居 の 理 由					入居前の生活場所			
	家庭 復帰	長期 入院	施設 変更	死亡	計	家庭	病院	他施設	計
当年度	0	0	0	8	8	6	1	3	10
前年度	1	6	0	12	19	7	3	7	17
比較	△ 1	△ 6	0	△ 4	△ 11	△ 1	△ 2	△ 4	△ 7

③ 食事の提供状況（副食・延べ食数）

	普通	刻み	細刻み	ミキサー	その他	計
当年度	14,315	8,272	20,794	9,747	57	53,185
前年度	12,977	8,492	21,263	8,821	45	51,598
比較	1,338	△ 220	△ 469	926	12	1,587

その他とは、くだもの、プリン、ヨーグルト等のみでの栄養摂取である。

④ 通院受診の状況

	歯 科	耳 鼻 咽 喉 科	脳 神 経 外 科	整 形 外 科	内 科	外 科	眼 科	泌 尿 器 科	皮 膚 科	呼 吸 器 内 科	婦 人 科	計
当年度	5	4	25	20	29	9	3	8	26	0	1	130
前年度	10	1	30	11	37	5	2	0	27	0	4	127
比較	△5	3	△5	9	△8	4	1	8	△1	0	△3	3

脳神経外科及び皮膚科の受診は定期受診、整形外科は転倒後の受診、内科は、週2回の市民病院医師の定期回診以外の緊急的な受診が主です。

⑤ 機能維持訓練の状況

	上下肢屈伸	手指開き	起立	歩行	発声	計
当年度	133	74	12	2	0	221
前年度	266	224	15	11	27	543
比較	△ 133	△ 150	△ 3	△ 9	△ 27	△ 322

当年度は、看護師の勤務体制上から1月までは機能訓練を行っていないため、実質2ヶ月の実施件数となっている。

(4) 入居申込の状況

① 新規申込者数と介護度

	自立	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中 その他	計
当年度	5	1	10	15	13	3	2	7	56
前年度	1	1	16	8	6	11	3	6	52
比較	4	0	△6	7	7	△8	△1	1	4

② 新規申込者の住所及び男女別内訳

	神岡町内	左記以外 飛騨市内	旧上宝村 内	左記以外 高山市内	その他	計	男性	女性
当年度	45	2	9	0	0	56	25	31
前年度	41	2	7	1	1	52	11	41
比較	4	0	2	△1	△1	4	14	△10

③ 年度末現在申込者数

	男性	女性	計	申込者の住所地					計
				神岡町 内	左記以 外の飛 騨市内	旧上宝 村内	左記以 外の高 山市内	その他	
当年度末	52	146	198	164	5	22	6	1	198
前年度末	34	132	166	137	4	19	5	1	166
比較	18	14	32	27	1	3	1	0	32

申込者の中には、入居対象とならない自立や要支援の方もいるため、入所申込の受付方法を新年度から改めるとともに、現在申し込まれている方についても、意向等を確認し、名簿の整理を行う計画です。また、現在の申込者の中には、他の施設に入っている方や、今は入居するつもりはないが申し込んでおきたいとする方もあり、申込者数が待機者数ということではありません。

## 2. 特別養護老人ホームたんぼぼ苑（短期入所）

併設・空床型 定員20人

- ・ 介護保険法による指定短期入所生活介護事業所  
平成12年3月28日 指定（岐阜県指令高第537号の876）
- ・ 介護保険法による指定介護予防短期入所生活介護事業所  
平成18年4月1日 指定（岐阜県指令飛福第1644号の62）

### （1）事業の概要

短期入所の利用希望が増え、特に土曜日、日曜日は希望が多く、時には定員を超える申込となり、定期的な利用者に利用日の変更をお願いすることもあります。しかし、認知症の方は、利用ごとに使用する部屋が変れば不安等を訴えられることも増えるため、可能な限り同じ部屋にといった配慮も必要であり、部屋割が大変となっています。

利用状況を見ますと、1月の利用者が1日平均15人と少なくなっています。これは、感染性胃腸炎の疑いが発生したことにより、利用予定者に健康状態の確認を行うと共に苑の状況をお伝えした結果、利用を見合わせる方があったことによるものです。これ以外は順調に利用いただいており、年間の利用者は前年度より219人増の6,432人、1日平均17.6人となりました。

### （2）利用者の状況

#### ① 月別、介護度別利用者の推移(延べ人数)

	自立	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	1日 平均
4月				2	83	47	127	136	89	484	16.1
5月			2	2	104	43	142	136	111	540	17.4
6月				2	118	47	131	127	114	539	18.0
7月			6		88	65	125	116	111	511	16.5
8月			16		77	72	113	143	123	544	17.5
9月			29		71	74	179	95	132	580	19.3
10月			21		82	75	147	111	160	596	19.2
11月			23		65	77	171	104	96	536	17.3
12月			26		81	42	207	110	108	574	18.5
1月			26		51	57	173	105	53	465	15.0
2月			37		62	43	210	108	46	506	18.1
3月			46		61	54	243	97	56	557	18.0
計	0	0	232	6	943	696	1,968	1,388	1,199	6,432	17.6
前年度	6	-	-	42	1,196	913	1,327	1,754	975	6,213	17.0
比較	△6	0	232	△36	△253	△217	641	△366	224	219	0.6

② 年間利用状況

	述べ利用者数	営業日数	1日平均利用者数	利用率	平均介護度 (自立を除く)	送迎人数	
						迎え	送り
当年度	6,432 人	365	17.6	88.11	3.09	1,515	1,446
前年度	6,213	365	17.0	85.11	3.05	1,296	1,141
比較	219	0	0.6	3.00	0.04	219	305

③ 食事の提供状況（副食・延べ食数）

	普通	刻み	細刻み	ミキサー	胃ろう	計
当年度	10,018	2,662	2,295	612	190	15,777
前年度	9,549	3,385	2,345	204	113	15,596
比較	469	△ 723	△ 50	408	77	181

3. デイサービスセンターたんぽぽ苑

定員25人

- ・ 介護保険法による指定通所介護事業所  
平成12年3月28日 指定（岐阜県指令高第537号の878）
- ・ 飛騨市地域生活支援事業（障害者デイサービス事業）  
平成18年10月1日 委託契約

(1) 事業の概要

東町デイサービスでは、介護予防事業は実施しないこととし、従来と同様に認知症の方を主とした運営を進めました。

前年度の中ごろから、施設運営の特徴が理解されたためか、利用希望が少しずつ増えてきたため、7月には職員を増やし受入枠を3名増やし18名として利用者を受け入れました。1月は短期入所と同様の理由で利用が落ち込みましたが、年間では前年度より1,445人多い、4,898人の利用となりました。また、入浴のみの利用サービスを開始し、11月から述べ16回の利用（利用実人数は1人）がありました。

① 職員の状況

3月31日現在

	管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	介護支援専門員	調理職員	事務職員	技術職員	医師	計
職員数	(1)	2	4	2	(1)	(2)		(8)	(1)	3		11

注意 管理者、栄養士、調理職員及び事務職員は、特別養護老人ホーム職員が、機能訓練指導員は看護職員が兼務しています。

○ 資格等の取得状況（複数の資格を持つ職員がいます。）

社会福祉士 0名 社会福祉主事 2名 介護福祉士 3名  
 介護支援専門員 0名 看護師 2名

(2) 利用者の状況

① 月別、介護度別利用者の推移(延べ人数)

	身障者	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	一日 平均	入 浴 利用者
4月	4	-	118	59	126	33	17	357	11.9	
5月	4	-	122	61	143	32	11	373	12.0	
6月	5	-	111	74	152	31	23	396	13.2	
7月	4	-	90	81	180	33	31	419	13.5	
8月	5	-	76	62	195	28	38	404	13.0	
9月	4	-	78	64	233	15	38	432	14.4	
10月	1	-	82	52	242	20	31	428	13.8	
11月	5	-	70	57	234	26	41	433	14.4	2
12月	3	-	73	65	240	29	22	432	13.9	4
1月	4	-	71	50	212	31	16	384	12.4	3
2月	4	-	56	79	220	29	14	402	14.4	4
3月	4	-	64	96	230	29	15	438	14.1	3
計	47	-	1,011	800	2,407	336	297	4,898	13.4	16
前年	46	302	617	842	1,153	278	215	3,453	9.5	-
比較	1	△ 302	394	△ 42	1,254	58	82	1,445	3.9	16

② 年間利用者

	延べ利用者数	営業 日数	1日平均 利用者数	利用率	平均介護度 (介護保険者)
当年度	4,898	365	13.4	74.55	2.61
前年度	3,453	365	9.5	63.07	2.37
比較	1,445	0	3.9	11.48	0.24

前年度は15人、当年度は18人の枠で利用率を計算しています。

	送迎人数		入浴利用者		
	迎え	送り	一般浴	機械浴	計
当年度	4,175	4,136	3,445	949	4,394
前年度	2,997	3,001	2,455	859	3,314
比較	1,178	1,135	990	90	1,080

③ 食事の提供状況（副食・延べ食数）

	普通	刻み	細刻み	ミキサー		計
当年度	3,544	719	314	3		4,580
前年度	2,544	472	91	10		3,117
比較	782	247	213	△ 7		1,463

4. 旭ヶ丘デイサービスセンターたんぽぽ苑

定員40人

- ・ 介護保険法による指定通所介護事業所  
平成15年4月1日 指定（岐阜県指令飛福第82号の8）
- ・ 介護保険法による指定介護予防通所介護事業所  
平成18年4月1日 指定（岐阜県指令飛福第1644号の63）
- ・ 飛騨市地域生活支援事業（障害者デイサービス事業）  
平成18年10月1日 委託契約

(1) 事業の概要

1日当りの平均利用者は30.4人と前年度を若干下回り、延べ利用者は96人減の11,081人の利用となりました。

制度改正で介護報酬が引き下げとなったこともあり、収入は落ちこみました。

デイサービスでの活動の主体であるアクティビティ（計画的・集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練をいう。）は、フットケア（足浴）やドライブ、散歩といった外出活動に人気がありますが、外出は回数や参加人数に限度があります。また、これまで行っているリハビリ体操や手芸等も内容を工夫し、利用者が飽きないように努めていますが、利用者の要望に十分応えているか疑問もあります。今後は、さらに利用者個々のニーズの把握に努め、個人に合わせた活動を取り入れる工夫と努力が必要と思っています。利用される方の満足度をより高め、「何度でも来たい。」とさせていただける施設にすることを全職員が認識し、より良いサービスの提供、より良い施設の運営に努めます。

① 介護予防事業を開始

18年度から始まった介護予防事業については、利用者の介護認定の更新が進むにつれて介護予防対象者が増え、年度末には介護予防対象者の利用が29.3%となりました。

介護予防通所介護事業所の指定は受けましたが、介護予防事業として特別メニューを実施することはできず、これまでと同じアクティビティのみを実施しました。利用者の制度に対する理解度を含め、まだ手探りの状態であり、他施設においても運動器機能向上や口腔機能向上のメニューを実施する所は少なく、様子見の間で1年が経過しています。しかし、利用者の3割が介護予防事業対象者となっており、真の介護予防事業をどのように展開していくか、早急に方向を見定める必要があると考えています。

② 利用者ニーズの把握を模索

当年度もこれまでの取り組みを踏襲した活動が中心となりました。利用者個々のニーズを掘り下げに努めましたが、利用者の中には自発的に意見を言える方も少なく、ご家族も遠慮される場合が多いため、本当に欲している「施設に対する期待」を把握することが難しいのが現実です。

多人数が一堂に会している中で、個々の意見をどのように引き出し、取り入れて活動に繋げていけるか、制約も多くある中ではありますが、積極的に取り組む工夫が必要と感じています。

③ 事故等の件数が減少

事故の報告件数が、前年度と比較すると半減しました。これは、職員間の情報の共有化、連絡の徹底を図るため申送方法の改善等に努めたことが減少につながったと思われる。しかし、以前話し合いで確認した問題点が一時的なもので終わっていることもあり、さらなる工夫と努力が必要と感じています。

また、全国的に猛威を振るった感染性胃腸炎は、利用者・職員からの発症報告はありませんでした。これは、年間を通してうがい・手洗いを実施していることや、感染症について早くから利用者へ啓蒙したこと、施設内の適切な予防措置等が、効を奏したものと思います。

④ 地域との連携

8月の納涼祭など多くの行事や施設内外の整備等に、多くのボランティアの皆様にご協力をいただきました。内容も、利用者との話し合い、踊りや歌、演奏の披露、体操の指導、畑の植え付け準備や苑舎の清掃などと多面にわたっています。中には定期的に訪れていただく方もあり、利用者の皆さんは、ボランティアの訪問を楽しみにされており、訪問があった日は通常とは違う利用者の顔がみられます。

このほか、地元小・中・高校のワークキャンプや職場体験、学生の介護実習を受け入れ、将来の福祉人材の育成に努めました。

⑤ 職員の状況

3月31日現在

	管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	介護支援専門員	調理職員	事務職員	技術職員	医師	計
職員数	1	1	12	2	1	(2)			(1)	2		19

注意 機能訓練指導員は看護職員、事務職員は栄養士が兼務し、調理業務は業者に委託しています。なお、上記以外に育児休業中の職員が2名います。

○ 資格等の取得状況（休職者を含み、複数の資格を持つ職員がいます。）

社会福祉士 1名 社会福祉主事 2名 介護福祉士 11名  
 介護支援専門員 3名 看護師 2名

(2) 利用者の状況

① 月別、介護度別利用者の推移(延べ人数)

	身障者	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	一日 平均
4月	5	3	41	52	355	140	182	80	38	896	29.9
5月	6	5	53	61	348	139	180	75	37	904	29.2
6月	10	14	74	42	297	167	171	88	28	891	29.7
7月	13	24	135	29	280	202	164	90	44	981	31.6
8月	9	18	160	12	265	227	182	82	39	994	32.1
9月	8	23	168	9	249	245	183	82	41	1,008	33.6
10月	9	20	172	8	224	248	205	77	33	996	32.1
11月	9	30	164	10	223	196	179	70	33	914	30.5
12月	6	21	197	8	230	167	177	68	31	905	29.2
1月	6	30	180	5	239	145	156	42	27	830	26.8
2月	8	23	198	0	238	152	142	39	22	822	29.4
3月	9	32	244	0	245	173	162	45	30	940	30.3
計	98	243	1,786	236	3,193	2,201	2,083	838	403	11,081	30.4
前年	87	-	-	718	4,444	2,157	2,605	760	406	11,177	30.6
比較	11	243	1,786	△482	△1,251	44	△522	78	△3	△96	△0.2

注意 経過的要介護は、前年度は要支援と読み替えること。

② 年間利用状況

	延べ利 用者数	営業 日数	1日平均 利用者数	利用率	平均介護度 (介護保険者)	送迎人数	
						迎え	送り
当年度	11,081	365	30.4	75.90	1.83	10,684	10,785
前年度	11,177	365	30.6	76.55	1.98	10,804	10,911
比較	△96		△0.2	△0.65	△0.15	△120	△126

	入浴利用者			食事利用者		
	一般浴	機械浴	計	普通食	特別食	計
当年度	10,166	697	10,863	10,954	0	10,954
前年度	10,389	561	10,950	10,911	0	10,911
比較	△223	136	△87	43	0	43



## 5. ホームヘルプサービスたんぽぽ苑

- ・ 介護保険法による指定訪問介護事業所  
平成 12 年 3 月 28 日 指定（岐阜県指令高第 537 号の 877）
- ・ 介護保険法による指定介護予防訪問介護事業所  
平成 18 年 4 月 1 日 指定（岐阜県指令飛福第 1644 号の 61）
- ・ 障害者自立支援法による指定居宅介護事業所  
平成 18 年 10 月 1 日 指定（岐阜県指令障第 605 号の 107）
- ・ 障害者自立支援法による指定重度訪問介護事業所  
平成 18 年 10 月 1 日 指定（岐阜県指令障第 605 号の 429）
- ・ 飛騨市地域生活支援事業（移動介護事業）  
平成 18 年 10 月 1 日 委託契約

### (1) 事業の概要

前年度は派遣需要が落ち込みましたが、当年度は、徐々に新規利用が増えており一昨年度並に戻りつつあります。しかし、サービス内容は多様化しており、提供事業者として利用者の満足度を上げるためには、ニーズを的確につかみ良質なサービスを提供することが第一と考えており、職員の技量の向上等に努めたいと考えます。

また、障害者自立支援法の施行に伴い、障害者の外出介護が障害福祉サービスの一つに明確化され、そのサービス事業者として指定を受けました。初年度の利用は 5 件で、全体からみればわずかですが、この事業に対応できるヘルパーは 1 名のみであり、拘束時間が長く専門知識も必要なため、職員の育成が必要と考えています。

### 職員の状況

3 月 31 日現在

	管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	介護支援専門員	調理職員	事務職員	技術職員	医師	計
職員数	(1)		8						(1)			8

注意 管理者、事務職員は、特別養護老人ホーム職員が兼務している。また、介護職員のうち 1 名は、サービス提供責任者を兼ねている。

職員には、登録ヘルパーを含み、常勤常態者は 3 名である。

○ 資格等の取得状況（複数の資格を持つ職員がいます。）

介護福祉士 2 名 ホームヘルパー 2 級 8 名

### (2) 利用者の状況

① 月別利用状況の推移

	介護保険適用分							
	身体介護		身体生活複合		生活援助		介護予防	
	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間
4月	238	128:24	76	91:54	77	78:07	4	3:52
5月	289	163:18	92	109:35	74	74:28	4	3:52
6月	297	165:38	86	110:49	72	74:51	10	9:15
7月	292	155:01	95	124:24	51	53:34	25	24:23
8月	289	151:33	81	105:01	51	52:56	38	42:26
9月	321	162:54	74	95:54	47	46:15	44	48:23
10月	348	180:37	86	110:34	59	56:43	51	56:27
11月	301	169:12	99	124:17	54	53:36	53	59:56
12月	289	155:56	79	102:32	57	54:59	56	56:16
1月	254	137:15	81	105:53	44	42:31	55	57:55
2月	211	180:15	112	88:37	44	42:18	44	40:13
3月	252	139:37	122	141:14	45	43:32	49	46:03
計	3,381	1,889:40	1,083	1,310:44	675	673:50	433	449:01
前年度	2,975	1,525:32	724	891:54	1,718	1,761:14	-	-
比較	406	364:08	359	418:50	△1,043	△1,087:24	433	449:01

	自立支援費適用分						計	
	身体介護		家事援助		移動介護			
	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間
4月	4	6:58	21	24:26			420	333:41
5月	5	6:47	23	23:23	1	10:00	488	391:23
6月	2	2:54	19	19:03			486	382:30
7月	3	1:29	16	14:56			482	373:47
8月	2	2:58	29	30:26			490	385:20
9月			25	28:35			511	382:01
10月			30	33:02			574	437:23
11月	3	4:53	33	40:12	1	10:45	544	462:51
12月	3	5:14	41	43:10	1	12:45	526	430:52
1月			35	42:45	1	9:45	470	396:04
2月			34	43:33			445	394:56
3月			40	49:23	1	8:30	509	428:19
計	22	31:13	346	392:54	5	51:45	5,945	4,799:07
前年度	47	67:55	215	274:30	-	-	5,679	4,521:05
比較	△25	36:42	131	118:24	5	51:45	266	278:02

② 1日平均利用状況

	営業 日数	介護保険適用分		自立支援費適用分		計	
		件数	時 間	件数	時 間	件数	時 間
当年度	365	15.3	11:51	1.0	1:18	16.3	13:09
前年度	365	14.8	11:26	0.7	0:56	15.5	12:23
比 較		0.5	0:25	0.3	0:22	0.8	0:46

前年度の自立支援費適用分は、障害者の措置費適用分と読み替えること。

6. シルバーサポートたんぼぼ苑

① 居宅介護支援事業

- ・ 介護保険法による指定居宅介護支援事業所  
平成11年12月24日 指定（岐阜県指令高第537号の360）

(1) 事業の概要

居宅介護支援事業は、前年度まで「在宅介護支援センターたんぼぼ苑」として業務を行っていましたが、18年4月の介護保険制度の改正に伴い、市直営の地域包括支援センターが開設され、在宅介護支援センターの委託が廃止となりました。このため、名称を「シルバーサポートたんぼぼ苑」に変更し、公益事業として会計を分離して業務を進めました。

市の方針は、地域包括支援センターの開設に伴いケアプランセンターの業務量を順次縮小し、職員を支援センター業務に移動することとされており、苑ではケアプランセンターの業務を引き継ぐこととし、介護支援専門員を18年1月に1名増員し3名体制としました。4月の支援センターの開設によりケアプランセンター職員がさらに1名減員されたことにより、苑の介護支援専門員を4名体制として業務を進めました。この結果、サービス計画の作成件数は、16年度689件であったものが、17年度には1,108件となり、18年度では1,742件と年毎に増加しています。

居宅介護支援業務については、4月に運営基準が改正され、介護支援専門員1人が受け持つ利用者は35人まで、介護予防のプランは8件までと定められたほか、具体的な取扱方針もより明確な内容に改められており、これまで以上に細やかな処理が求められました。また、介護報酬は引き上げ改正されたため、経営的には若干楽になりましたが、この業務は経験が比較的多い職員を充てているため、人件費を賄うのがやっとの状況となっています。しかし、法人事業のセールスマンの要素もあり、無視できない業務と思います。18年度末でケアプランセンターが廃止となり、当苑が神岡町内唯一の事業所となるため、さらに事業量も増加すると思われます。今後は、職員の資格取得や業務処理能力の向上が必要と考えます。

職員の状況

3月31日現在

	管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	介護支援専門員	調理職員	事務職員	技術職員	医師	計
職員数	(1)						4		(1)	2		6

注意 職員数は、移送サービス事業の従事者を含んでおり、管理者及び事務職員は、特別養護老人ホーム職員が兼務している。

○ 資格等の取得状況（複数の資格を持つ職員がいます。）

社会福祉士 1名 社会福祉主事 1名 介護福祉士 3名  
 介護支援専門員 4名 看護師 0名

(2) 利用者の状況

① 月別サービス計画作成の推移

	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	1	1	8	37	23	23	14	10	117
5月	3	4	9	44	27	31	16	13	147
6月	3	4	7	43	29	33	16	14	149
7月	4	5	5	41	31	32	18	15	151
8月	4	7	4	40	32	35	17	16	155
9月	7	8	2	39	31	39	15	15	156
10月	4	6	1	39	30	43	16	15	154
11月	5	5	2	39	28	40	17	13	149
12月	5	6	2	32	22	39	18	12	136
1月	4	8	1	37	20	42	17	11	140
2月	5	8	0	38	24	41	18	8	142
3月	4	9	0	39	26	42	17	9	146
計	49	71	41	468	323	440	199	151	1,742
前年度	-	-	128	379	205	177	155	64	1,108
比較	49	71	△ 87	89	118	263	44	87	634

前年度の経過的要介護は、要支援と読み替える。

## ② 移送サービス事業

- ・ 飛騨市移送サービス事業  
平成 13 年度から神岡町（合併後は飛騨市）と毎年委託契約
- ・ 飛騨市地域生活支援事業（移送サービス事業）  
平成 18 年 10 月 1 日 みなし契約

### (1) 事業の概要

移送サービス事業は、飛騨市移送サービス事業運営要綱に基づき、市所有のリフト付車両の運行業務を受託しているものです。車イスでの移動を必要とする方で市に登録した利用者について、医療施設への通院や入退院のため、居宅と医療施設間の移送業務を行うもの、診療日の関係で日によって利用人数に差があり、多い日は帰りの時間が重なることもありますが、利用者からは大変喜んでいただいています。

この事業は、障害者自立支援法の施行により 10 月から、障害者の移送部分が飛騨市地域生活支援事業の中の移送サービス事業となり、従来からの事業との二本立てとなりました。しかし、利用者への直接影響はなく、これまでと同様に利用していただいています。

### (2) 利用の状況

	述べ利用件数	運行日数	1 日平均 利用件数	移送距離 (km)	年度末 登録者数
当年度	2,456	260	9.4	5,169	82
前年度	2,226	249	8.9	4,318	80
比較	230	11	0.5	851	2

## ③ 相談等のサービス事業

### (1) 事業の概要

在宅介護支援センターとしての市の業務委託は、前年度で終了しましたが、介護に関する相談や介護用品の貸出等については、従来どおり対応しました。

#### ① 介護用品の貸出状況

	車イス	エアーマット	歩行器	四点杖	ポータブルトイレ	浴槽手すり	浴槽イス	計
当年度	64	1	9	10	9	5	3	101



# 決算書

# 財産目録

社会福祉法人 神東会  
(単位：円)

平成19年3月31日現在 法人全体(一般・特別合計)

資産・負債の内訳	金額
<b>資産の部</b>	
1. 流動資産	
普通預金	103,286,793
定期預金	60,000,000
未収金	67,611,887
立替金	2,652,333
流動資産合計	233,551,013
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
建物 鉄筋コンクリート造2階建 他	1,822,075,015
減価償却累計額	△ 704,534,800
基本財産特定預金	20,000,000
基本財産合計	1,137,540,215
(2) その他の固定資産	
車輛運搬具	31,697,531
減価償却累計額	△ 17,994,235
器具及び備品	166,250,799
減価償却累計額	△ 137,036,782
権利	700,000
投資有価証券	10,000
移行時特別積立預金	111,040,955
退職給与預け金	27,061,050
特定目的積立預金	228,928,432
その他の固定資産合計	410,657,750
固定資産合計	1,548,197,965
資産合計	1,781,748,978
<b>負債の部</b>	
1. 流動負債	
未払金	18,836,144
預り金	2,315,966
流動負債合計	21,152,110
2. 固定負債	
退職給与引当金	17,005,335
固定負債合計	17,005,335
負債合計	38,157,445
差引純資産	1,743,591,533



貸借対照表(連結)

平成19年 3月31日現在

社会福祉法人 神東会

	資産の部			負債・資本の部			
	本年度決算	前年度決算	増減		本年度決算	前年度決算	増減
流動資産	233,551,013	211,198,087	22,352,926	流動負債	21,152,110	18,442,479	2,709,631
現金預金	163,286,793	144,048,493	19,238,300	未払金	18,836,144	16,683,038	2,153,106
普通預金	103,286,793	84,048,493	19,238,300	未払金	18,836,144	16,683,038	2,153,106
定期預金	60,000,000	60,000,000	0	預り金	2,315,966	1,759,441	556,525
未収金	67,611,887	64,205,244	3,406,643				
未収金	67,611,887	64,205,244	3,406,643				
立替金	2,652,333	2,779,850	-127,517				
前払金	0	160,000	-160,000				
仮払金	0	4,500	-4,500				
固定資産	1,548,197,965	1,595,682,610	-47,484,645	固定負債	17,005,335	14,513,580	2,491,755
基本財産	1,137,540,215	1,188,593,043	-51,052,828	退職給与引当金	17,005,335	14,513,580	2,491,755
建物	1,822,075,015	1,817,116,615	4,958,400	***負債の部合計***	38,157,445	32,956,059	5,201,386
減価償却累計額	704,534,800	648,523,572	56,011,228				
基本財産特定預金	20,000,000	20,000,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	410,657,750	407,089,567	3,568,183	基本金	20,000,000	20,000,000	0
車両運搬具	31,697,531	26,175,906	5,521,625	基本金	20,000,000	20,000,000	0
減価償却累計額	17,994,235	15,049,650	2,944,585	国庫補助金等特別積立金	873,573,826	933,221,281	-59,647,455
器具及び備品	166,250,799	168,260,985	-2,010,186	国庫補助金等特別積立金(整備時分)	873,573,826	933,221,281	-59,647,455
減価償却累計額	137,036,782	134,274,404	2,762,378	その他の積立金	429,198,466	427,381,464	1,817,002
権利	700,000	700,000	0	移行時特別積立金	200,270,034	205,228,434	-4,958,400
投資有価証券	10,000	10,000	0	積立金	228,928,432	222,153,030	6,775,402
移行時特別積立預金	111,040,955	115,999,355	-4,958,400	次期繰越活動収支差額	420,819,241	393,321,893	27,497,348
退職給与預け金	27,061,050	23,114,345	3,946,705	次期繰越活動収支差額	420,819,241	393,321,893	27,497,348
積立預金	228,928,432	222,153,030	6,775,402	(うち当期活動収支差額)	29,314,350	10,231,810	19,082,540
	0	0	0	***純資産の部合計***	1,743,591,533	1,773,924,638	-30,333,105
***資産の部合計***	1,781,748,978	1,806,880,697	-25,131,719	***負債及び純資産の部合計***	1,781,748,978	1,806,880,697	-25,131,719

脚注

- 1、減価償却費の累計額 859,565,817 円
- 2、徴収不能引当金の額 0 円

注記

- 1、会計処理方式  
社会福祉法人会計基準  
(平成12年12月19日社援施第49号老計第55号に基づく)

- 2、小口現金  
定額資金前渡制で限度額10万円

- 3、棚卸資産の評価方法  
最終仕入原価法

- 4、有価証券の評価方法  
総平均法

- 5、減価償却の方法  
定額法  
残存価額は取得価額の10%

- 6、退職給与引当金の計上基準  
財団法人岐阜県民間社会福祉事業従事者  
共済会証明額による

- 7、徴収不能引当金の計上基準  
過去の徴収不能割合に基づくもののほか、  
個別に見積もったものを計上

※この貸借対照表は一般会計と特別会計を単純に合計したものである

## 資金収支計算書(連結)

平成18年度分

(自) 平成18年 4月 1日 (至) 平成19年 3月31日

社会福祉法人 神東会

勘定科目	予算	決算	差異	備考
《経常活動による収支》				
《経常活動収入》				
介護保険収入	439,048,000	438,130,070	917,930	
介護福祉施設介護料収入	151,449,000	151,632,620	-183,620	
施設介護報酬収入	136,385,000	137,652,283	-1,267,283	
施設利用者負担金収入	15,064,000	13,980,337	1,083,663	
居宅介護料収入	215,524,000	211,299,646	4,224,354	
居宅サービス介護報酬収入	193,962,000	190,167,732	3,794,268	
居宅サービス利用者負担金収入	21,562,000	21,131,914	430,086	
居宅介護支援介護料収入	19,173,000	18,749,500	423,500	
利用者等利用料収入	48,099,000	51,813,335	-3,714,335	
介護福祉施設利用料収入	130,000	156,035	-26,035	
居宅介護サービス利用料収入	1,119,000	1,808,490	-689,490	
食費収入	38,959,000	41,066,310	-2,107,310	
居住費収入	7,891,000	8,782,500	-891,500	
その他の事業収入	4,803,000	4,634,969	168,031	
補助金収入	116,000	509,469	-393,469	
市町村特別事業収入	2,962,000	3,317,600	-355,600	
受託収入	1,725,000	807,900	917,100	
自立支援費等収入	1,694,000	804,410	889,590	※注
介護給付費収入	1,474,000	723,969	750,031	
利用者負担金収入	220,000	80,441	139,559	
介護給付費利用者負担金収入	163,000	80,441	82,559	
食費収入	57,000	0	57,000	※注
補助事業等収入	0	1,022,760	-1,022,760	※注
受託事業収入	0	887,544	-887,544	
利用者負担金収入	0	82,834	-82,834	
その他の補助金等収入	0	52,382	-52,382	
寄附金収入	6,581,000	6,657,630	-76,630	
寄附金収入	6,581,000	6,657,630	-76,630	
寄付金収入	6,581,000	6,626,752	-45,752	
寄付物品収入	0	30,878	-30,878	
雑収入	186,000	621,811	-435,811	
雑収入	186,000	621,811	-435,811	
受取利息配当金収入	1,485,000	1,535,486	-50,486	
受取利息配当金収入	1,485,000	1,535,486	-50,486	
経理区分間繰入金収入	80,659,000	80,657,248	1,752	
経理区分間繰入金収入	80,659,000	80,657,248	1,752	
***経常収入計***	529,653,000	529,429,415	223,585	
《経常活動支出》				
人件費支出	299,740,000	298,531,308	1,208,692	
役員報酬	1,242,000	984,000	258,000	
職員俸給	121,667,000	121,662,021	4,979	
職員諸手当	64,197,000	63,596,662	600,338	
扶養手当	2,019,000	2,011,500	7,500	
時間外手当	4,091,000	3,702,494	388,506	
特殊勤務手当	7,136,000	6,997,100	138,900	

社会福祉法人 神東会

勘定科目	予算	決算	差異	備考
夜間勤務手当	1,670,000	1,653,642	16,358	
通勤手当	2,054,000	1,985,800	68,200	
住居手当	602,000	601,200	800	
宿日直手当	1,413,000	1,440,600	-27,600	
賞与	45,212,000	45,204,326	7,674	
非常勤職員給与	75,727,000	75,045,045	681,955	
日々雇用職員賃金	74,125,000	73,451,695	673,305	
日々雇用職員通勤手当	1,602,000	1,593,350	8,650	
退職共済掛金	4,403,000	4,717,032	-314,032	
岐阜県民間社会福祉事業従事者共済会	0	317,832	-317,832	
社会福祉医療事業団	4,403,000	4,399,200	3,800	
法定福利費	32,504,000	32,526,548	-22,548	
健康保険料	10,635,000	10,642,227	-7,227	
厚生年金保険料	17,611,000	17,662,678	-51,678	
児童手当拠出金	228,000	219,362	8,638	
労働保険料	4,030,000	4,002,281	27,719	
事務費支出	52,166,000	44,116,333	8,049,667	
福利厚生費	2,467,000	1,825,150	641,850	
旅費交通費	1,395,000	827,499	567,501	
費用弁償	430,000	211,420	218,580	
普通旅費	965,000	616,079	348,921	
研修費	1,321,000	681,390	639,610	
消耗品費	4,316,000	3,499,222	816,778	
事務消耗品費	1,532,000	1,197,801	334,199	
事務図書購入費	535,000	411,454	123,546	
電気消耗品費	531,000	377,633	153,367	
事務その他消耗品費	1,718,000	1,512,334	205,666	
事務器具什器費	1,044,000	515,045	528,955	
印刷製本費	236,000	149,228	86,772	
水道光熱費	1,132,000	604,683	527,317	
事務電気料	840,000	467,115	372,885	
事務水道料	292,000	137,568	154,432	
燃料費	1,499,000	1,223,290	275,710	
事務燃料費	1,269,000	1,014,739	254,261	
事務車輛燃料費	230,000	208,551	21,449	
修繕費	6,200,000	5,680,785	519,215	
建物修繕費	3,625,000	3,358,982	266,018	
機械器具修繕費	1,029,000	953,702	75,298	
車両修繕費	1,546,000	1,368,101	177,899	
通信運搬費	1,330,000	1,152,369	177,631	
電話料	859,000	741,339	117,661	
郵送料	471,000	411,030	59,970	
会議費	260,000	66,243	193,757	
広報費	714,000	601,817	112,183	
業務委託費	22,137,000	20,916,753	1,220,247	
委託費	11,412,000	10,318,106	1,093,894	
保守料	10,725,000	10,598,647	126,353	
手数料	2,156,000	1,058,449	1,097,551	
損害保険料	2,819,000	2,651,487	167,513	
賃借料	1,704,000	1,468,770	235,230	

社会福祉法人 神東会

勘定科目	予算	決算	差異	備考
租税公課	463,000	455,900	7,100	
渉外費	380,000	256,888	123,112	
諸会費	385,000	318,312	66,688	
事務雑費	208,000	163,053	44,947	
事業費支出	80,811,000	67,148,736	13,662,264	
給食費	26,693,000	24,510,668	2,182,332	
保健衛生費	1,620,000	1,291,225	328,775	
保健衛生費	1,200,000	1,153,096	46,904	
医薬品費	420,000	138,129	281,871	
被服費	1,917,000	1,674,440	242,560	
寢具料	1,680,000	1,591,220	88,780	
衣類費	237,000	83,220	153,780	
教養娯楽費	3,141,000	1,493,462	1,647,538	
行事費	1,137,000	564,366	572,634	
雑誌図書費	575,000	302,420	272,580	
教養娯楽用品費	43,000	35,975	7,025	
アクティビティ活動費	1,386,000	590,701	795,299	
日用品費	7,683,000	4,861,804	2,821,196	
水道光熱費	13,285,000	12,001,900	1,283,100	
電気料	10,011,000	9,399,642	611,358	
水道料	3,274,000	2,602,258	671,742	
燃料費	17,950,000	14,861,072	3,088,928	
燃料費	15,895,000	12,920,359	2,974,641	
車輛燃料費	2,006,000	1,913,150	92,850	
その他燃料費	49,000	27,563	21,437	
消耗品費	4,214,000	3,559,244	654,756	
介護用品費	1,409,000	985,411	423,589	
事業その他消耗品費	2,805,000	2,573,833	231,167	
器具什器費	2,573,000	1,465,155	1,107,845	
事業用器具什器費	2,360,000	1,269,691	1,090,309	
厨房用器具什器費	213,000	195,464	17,536	
賃借料(事業)	345,000	207,768	137,232	
事業雑費	1,390,000	1,221,998	168,002	
利用者負担減免額	1,390,000	1,221,998	168,002	
経理区分間繰入金支出	80,659,000	80,657,248	1,752	
経理区分間繰入金支出	80,659,000	80,657,248	1,752	
***経常支出計***	513,376,000	490,453,625	22,922,375	
***経常活動資金収支差額***	16,277,000	38,975,790	-22,698,790	
《施設整備等による収支》				
《施設整備等収入》				
施設整備等補助金収入	210,000	210,000	0	
設備整備補助金収入	210,000	210,000	0	
***施設整備等収入計***	210,000	210,000	0	
《施設整備等支出》				
固定資産取得支出	14,255,000	13,376,713	878,287	
建物取得支出	4,959,000	4,958,400	600	
車輛運搬具取得支出	5,700,000	5,521,625	178,375	
器具及び備品取得支出	3,596,000	2,896,688	699,312	
***施設整備等支出計***	14,255,000	13,376,713	878,287	
***施設整備等資金収支差額***	-14,045,000	-13,166,713	-878,287	

社会福祉法人 神東会

勘定科目	予算	決算	差異	備考
《財務活動による収支》				
《財務活動収入》				
積立預金取崩収入	5,000,000	4,958,400	41,600	
移行時特別積立預金取崩収入	5,000,000	4,958,400	41,600	
その他の収入	26,000	25,200	800	
退職共済給付金収入	26,000	25,200	800	
***財務収入計***	5,026,000	4,983,600	42,400	
《財務活動支出》				
積立預金積立支出	6,776,000	6,775,402	598	
積立預金積立支出	6,776,000	6,775,402	598	
その他の支出	4,389,000	4,373,980	15,020	
岐阜県退職共済掛金	4,363,000	4,348,780	14,220	
退職金	26,000	25,200	800	
***財務支出計***	11,165,000	11,149,382	15,618	
***財務活動資金収支差額***	-6,139,000	-6,165,782	26,782	
予備費	2,070,000			
***当期資金収支差額合計***	-5,977,000	19,643,295	-25,620,295	
前期末支払資金残高	191,145,531	192,755,608	-1,610,077	
***当期末支払資金残高***	185,168,531	212,398,903	-27,230,372	

※注記

2月20日付通知、4月4日付事務連絡、4月23日付事務連絡通知により決算書類のみ勘定科目の変更を行っている

## 事業活動収支計算書(連結)

平成18年度分

(自) 平成18年 4月 1日 (至) 平成19年 3月31日

社会福祉法人 神東会

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減	備考
《事業活動収支の部》				
《事業活動収入》				
介護保険収入	438,130,070	424,349,913	13,780,157	
介護福祉施設介護料収入	151,632,620	169,408,275	-17,775,655	
施設介護報酬収入	137,652,283	139,218,869	-1,566,586	
施設利用者負担金収入	13,980,337	13,335,646	644,691	
基本食事サービス料収入	0	16,853,760	-16,853,760	
居宅介護料収入	211,299,646	214,304,875	-3,005,229	
居宅サービス介護報酬収入	190,167,732	188,175,096	1,992,636	
居宅サービス利用者負担金収入	21,131,914	26,129,779	-4,997,865	
居宅介護支援介護料収入	18,749,500	9,428,000	9,321,500	
利用者等利用料収入	51,813,335	24,031,499	27,781,836	
介護福祉施設利用料収入	156,035	0	156,035	
居宅介護サービス利用料収入	1,808,490	126,273	1,682,217	
その他の利用料収入	0	7,045	-7,045	
食費収入	41,066,310	19,695,441	21,370,869	
居住費収入	8,782,500	4,202,740	4,579,760	
その他の事業収入	4,634,969	7,177,264	-2,542,295	
補助金収入	509,469	121,537	387,932	
市町村特別事業収入	3,317,600	3,199,627	117,973	
受託収入	807,900	3,856,100	-3,048,200	
利用料収入	0	1,659,816	-1,659,816	
利用料収入	0	1,618,940	-1,618,940	
支援費収入	0	1,607,940	-1,607,940	
支援費利用者負担	0	11,000	-11,000	
利用者負担金収入	0	40,876	-40,876	
自立支援費等収入	804,410	0	804,410	※注
介護給付費収入	723,969	0	723,969	
利用者負担金収入	80,441	0	80,441	
介護給付費利用者負担金収入	80,441	0	80,441	
補助事業等収入	1,022,760	0	1,022,760	※注
受託事業収入	887,544	0	887,544	
利用者負担金収入	82,834	0	82,834	
その他の補助金等収入	52,382	0	52,382	
寄附金収入	6,657,630	3,435,589	3,222,041	
寄附金収入	6,657,630	3,435,589	3,222,041	
寄付金収入	6,626,752	3,435,589	3,191,163	
寄付物品収入	30,878	0	30,878	
雑収入	621,811	243,679	378,132	
雑収入	621,811	243,679	378,132	
引当金戻入	0	5,544	-5,544	
退職給与引当金戻入	0	5,544	-5,544	
国庫補助金等特別積立金取崩額	59,857,455	59,815,456	41,999	
***事業活動収入計***	507,094,136	489,509,997	17,584,139	
《事業活動支出》			0	
人件費支出	298,531,308	293,010,193	5,521,115	
役員報酬	984,000	1,008,000	-24,000	

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減	備考
職員俸給	121,662,021	129,834,367	-8,172,346	
職員諸手当	63,596,662	67,844,035	-4,247,373	
扶養手当	2,011,500	2,183,000	-171,500	
時間外手当	3,702,494	4,912,673	-1,210,179	
特殊勤務手当	6,997,100	5,511,300	1,485,800	
夜間勤務手当	1,653,642	1,824,746	-171,104	
通勤手当	1,985,800	2,014,500	-28,700	
住居手当	601,200	812,700	-211,500	
宿日直手当	1,440,600	1,499,400	-58,800	
賞与	45,204,326	49,085,716	-3,881,390	
非常勤職員給与	75,045,045	59,122,294	15,922,751	
日々雇用職員賃金	73,451,695	57,575,114	15,876,581	
日々雇用職員通勤手当	1,593,350	1,526,680	66,670	
日々雇用職員携帯電話手当	0	20,500	-20,500	
退職共済掛金	4,717,032	3,299,400	1,417,632	
岐阜県民間社会福祉事業従事者共済	317,832	0	317,832	
社会福祉医療事業団	4,399,200	3,299,400	1,099,800	
法定福利費	32,526,548	31,902,097	624,451	
健康保険料	10,642,227	10,476,228	165,999	
厚生年金保険料	17,662,678	17,112,152	550,526	
児童手当拠出金	219,362	217,741	1,621	
労働保険料	4,002,281	4,095,976	-93,695	
事務費支出	44,116,333	48,994,588	-4,878,255	
福利厚生費	1,825,150	1,780,271	44,879	
旅費交通費	827,499	1,149,101	-321,602	
費用弁償	211,420	286,882	-75,462	
普通旅費	616,079	862,219	-246,140	
研修費	681,390	566,102	115,288	
消耗品費	3,499,222	3,402,418	96,804	
事務消耗品費	1,197,801	1,218,302	-20,501	
事務図書購入費	411,454	322,855	88,599	
電気消耗品費	377,633	309,245	68,388	
事務その他消耗品費	1,512,334	1,552,016	-39,682	
事務器具什器費	515,045	2,141,525	-1,626,480	
印刷製本費	149,228	83,210	66,018	
水道光熱費	604,683	652,758	-48,075	
事務電気料	467,115	476,808	-9,693	
事務水道料	137,568	175,950	-38,382	
燃料費	1,223,290	1,351,167	-127,877	
事務燃料費	1,014,739	1,050,200	-35,461	
事務車輛燃料費	208,551	300,967	-92,416	
修繕費	5,680,785	4,342,336	1,338,449	
建物修繕費	3,358,982	2,174,415	1,184,567	
機械器具修繕費	953,702	411,506	542,196	
車両修繕費	1,368,101	1,756,415	-388,314	
通信運搬費	1,152,369	1,269,900	-117,531	
電話料	741,339	771,115	-29,776	
郵送料	411,030	498,785	-87,755	
会議費	66,243	219,627	-153,384	
広報費	601,817	364,833	236,984	
業務委託費	20,916,753	21,648,530	-731,777	

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減	備考
委託費	10,318,106	11,203,463	-885,357	
保守料	10,598,647	10,445,067	153,580	
手数料	1,058,449	656,268	402,181	
損害保険料	2,651,487	2,413,157	238,330	
賃借料	1,468,770	1,664,270	-195,500	
租税公課	455,900	574,100	-118,200	
渉外費	256,888	306,173	-49,285	
諸会費	318,312	414,312	-96,000	
事務雑費	163,053	3,994,530	-3,831,477	
事業費支出	67,148,736	67,145,239	3,497	
給食費	24,510,668	25,736,411	-1,225,743	
保健衛生費	1,291,225	1,151,032	140,193	
保健衛生費	1,153,096	967,155	185,941	
医薬品費	138,129	183,877	-45,748	
被服費	1,674,440	1,842,949	-168,509	
寝具料	1,591,220	1,761,962	-170,742	
衣類費	83,220	80,987	2,233	
教養娯楽費	1,493,462	1,263,509	229,953	
行事費	564,366	574,732	-10,366	
雑誌図書費	302,420	300,644	1,776	
教養娯楽用品費	35,975	0	35,975	
アクティビティ活動費	590,701	388,133	202,568	
日用品費	4,861,804	5,113,855	-252,051	
水道光熱費	12,001,900	12,453,418	-451,518	
電気料	9,399,642	9,632,957	-233,315	
水道料	2,602,258	2,820,461	-218,203	
燃料費	14,861,072	14,443,877	417,195	
燃料費	12,920,359	12,921,716	-1,357	
車輛燃料費	1,913,150	1,519,659	393,491	
その他燃料費	27,563	2,502	25,061	
消耗品費	3,559,244	3,560,994	-1,750	
介護用品費	985,411	916,614	68,797	
事業その他消耗品費	2,573,833	2,644,380	-70,547	
器具什器費	1,465,155	839,756	625,399	
事業用器具什器費	1,269,691	839,756	429,935	
厨房用器具什器費	195,464	0	195,464	
賃借料(事業)	207,768	237,734	-29,966	
事業雑費	1,221,998	501,704	720,294	
利用者負担減免額	1,221,998	501,704	720,294	
減価償却費	66,134,378	65,551,952	582,426	
減価償却費	66,134,378	65,551,952	582,426	
徴収不能額	0	58,626	-58,626	
徴収不能額	0	58,626	-58,626	
引当金繰入	2,516,955	3,167,975	-651,020	
退職給与引当金繰入	2,516,955	3,167,975	-651,020	
***事業活動支出計***	478,447,710	477,928,573	519,137	
***事業活動収支差額***	28,646,426	11,581,424	17,065,002	
《事業活動外収支の部》			0	
《事業活動外収入》			0	
受取利息配当金収入	1,535,486	1,046,928	488,558	
受取利息配当金収入	1,535,486	1,046,928	488,558	



勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減	備考
経理区分間繰入金収入	80,657,248	0	80,657,248	
経理区分間繰入金収入	80,657,248	0	80,657,248	
***事業活動外収入計***	82,192,734	1,046,928	81,145,806	
《事業活動外支出》			0	
経理区分間繰入金支出	80,657,248	0	80,657,248	
経理区分間繰入金支出	80,657,248	0	80,657,248	
***事業活動外支出計***	80,657,248	0	80,657,248	
***事業活動外収支差額***	1,535,486	1,046,928	488,558	
***経常収支差額***	30,181,912	12,628,352	17,553,560	
《特別収支の部》			0	
《特別収入》			0	
施設整備等補助金収入	210,000	0	210,000	
設備整備補助金収入	210,000	0	210,000	
***特別収入計***	210,000	0	210,000	
《特別支出》			0	
固定資産売却損・処分損	867,562	2,396,542	-1,528,980	
器具及び備品売却損・処分損	490,687	1,180,531	-689,844	
器具及び備品売却損・処分損	490,687	1,180,531	-689,844	
退職給与預け金損失	376,875	1,216,011	-839,136	
国庫補助金等特別積立金積立額	210,000	0	210,000	
***特別支出計***	1,077,562	2,396,542	-1,318,980	
***特別収支差額***	-867,562	-2,396,542	1,528,980	
***当期活動収支差額***	29,314,350	10,231,810	19,082,540	
《繰越活動収支差額の部》			0	
前期繰越活動収支差額	393,321,893	386,191,300	7,130,593	
***当期末繰越活動収支差額***	422,636,243	396,423,110	26,213,133	
その他の積立金取崩額	4,958,400	0	4,958,400	
移行時特別積立金取崩額	4,958,400	0	4,958,400	
その他の積立金積立額	6,775,402	3,101,217	3,674,185	
その他の積立金積立額	6,775,402	3,101,217	3,674,185	
***次期繰越活動収支差額***	420,819,241	393,321,893	27,497,348	

※注記

2月20日付通知、4月4日付事務連絡、4月23日付事務連絡通知により決算書類のみ勘定科目の変更を行っている

平成19年 5月17日

社会福祉法人 神東会  
理事長 中村 博 殿

社会福祉法人 神東会

監事 栃本 康雄



監事 中尾 一之



平成18年度社会福祉法人神東会監事監査報告

私たち監事は、平成18年度（平成18年4月1日から平成19年3月31日）までの理事の業務執行状況及び財産状況について監査いたしました。この監査にあたり、私たち監事は、関連する法令及び通知に従い、社会福祉法人監事監査要領（全社協監事監査基準）に定められた監査手続きを実施いたしました。

監査の結果は、私たち監事の意見は、次のとおりです。

- (1) 事業報告書は、関連する法令及び通知に従い、当会の事業の執行状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (2) 財産目録は、関連する法令及び通知に従い、当会の財産を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (3) 貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書は関連する法令及び通知に従い、当会の資産と負債の状況、支払い資金の収入と支出の内容、事業活動の成果をそれぞれ正しく示し、不整の点はないと認めます。

以 上

立会者及び内容説明者

理 事 長	中村 博
苑 長	鈴木 睦芳
トータルチーフ	青山 和弘
”	上葛 健介
”	古田寿奈子